

平成29年度 現地検討会実施状況（林道整備等）

分野	検討会名	開催月日	主催・共催	開催地	出席者	目的	内容	写真	
林業専用道	上沼牛1号支線林道完成報告会	6月20日	空知森林管理署北空知支署	幌加内町（国有林）	国有林	5名	町職員への技術的支援のため、林業専用道の規格、列状間伐や地林況調査の実践などの説明を実施	平成28年度施工の上沼牛支線1号林道の完成報告会を幌加内町長や林務担当職員に対して実施。当該林道は一部町有地借上しているため、完成後の状況を確認してもらうことと合わせ、林業専用道の規格や構造物などについて説明。参加した林務担当者から、1m当たりの作設費用や林道専用道と森林作業道の規格の違いなどについて意見交換をかわした。また、冬期実施予定の間伐箇所において、列状間伐のメリットや定性間伐との違いについて説明した。 また、町職員に対して地林況調査方法であるピッターリッヒ法についてフォローアップしたほか、測高器などの器具を使用した測樹を実施し、「大変参考になった。」との感想を頂いた。	  上：林業専用道の説明 下：測高器による樹測
					民有林	名			
					自治体	5名			
					事業者	名			
					研究機関	名			
					その他	名			
					合計	10名			
林業専用道	第2回路網関係職員セミナー	2月26日～27日	北海道森林管理局森林整備第二課 北海道水産林務部	札幌市（会議室）	国有林	71名	森林施業の効率化と低コスト化を推進するため、林業専用道の効果的配置とその後の維持・修繕等に関する報告会及び有識者による講演を実施	初日は、林道施設災害復旧に係る設計や復旧状況の他、衛星画像・UAV・360°カメラ等先進技術を利用した路網状況の把握、路網作設の技術的な考察など、9事例の報告。 二日目は、路網管理コスト低減等の取り組みについて、北海道水産林務部から検討会を踏まえた提案をうけ、また、北海道大学・渋谷准教授から「林道・路網の重要性」についての講演を受講。 本セミナーを通じて、北海道地域における路網関係職員、特に若手職員の意識の醸成、先進技術の普及・継承により人材育成に寄与することとなった。	 報告を聞く参加者
					民有林	名			
					自治体	112名			
					事業者	32名			
					研究機関	名			
					その他	名			
					合計	215名			